

香川県立東山魁夷せとうち美術館では、年間4回のテーマ作品展と2回の特別展を行います。テーマ作品展は、魁夷の版画作品を中心とする所蔵品から、季節や取材地などのテーマに基づいて作品を選び紹介するものです。

Kagawa Prefectural Higashiyama Kai Setouchi Art Museum offers four times Exhibitions (from museum collections) and two times Special Exhibitions on a year.

■ 観覧料 Admission Fee

	一般 Adults	20名以上の団体料金 group rates for 20 and more
春・秋の特別展 Special Exhibitions	620円 (yen)	490円 (yen)
テーマ作品展 Exhibitions from Museum Collections	310円 (yen)	240円 (yen)

※高校生以下、満65歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方は無料
(当館受付にて証明書等をご提示ください)
※2022年5月18日(日) (国際博物館の日)は無料

*Free entry to high/junior high/elementary school students.
*Free entry for senior visitors aged 65 and over.
*Please show proof of age (driver's license, passport, etc.) at the ticket office.
*Free admission on May 18, 2022. (To celebrate International Museum Day.)

■ 開館時間

午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
Open 9:00AM-5:00PM [Last entry 4:30PM]

■ 休館日

月曜日(休日の場合は開館、翌日火曜日が休館)
年末年始(2022年12月27日～2023年1月1日)
展示替えのための休館日
・2022年4月4日～8日 ・5月30日～6月2日
・7月19日～20日 ・9月12日～16日
・11月7日～10日 ・2023年1月23日～26日
※4月14日～5月18日(「瀬戸内国際芸術祭2022」春会期中)、7月21日～9月4日の期間は休館日なし

Closed

Monday [Tuesday, when Monday is a national holiday]
Year-End and New Year [Dec.27-Jan.1]
Exhibition changing periods
[Apr.4-8, May.30-Jun.2, Jul.19-20, Sep.12-16, Nov.7-10
2022, Jan.23-26 2023]
※Open every day [Apr.14-May.18 and Jul.21-Sep.4 2022]

■ ラウンジ・カフェ

四国八十八番選定

瀬戸内海に浮かぶ魁夷の祖父が生まれ育った
権石島を眺望することができます。

カフェ営業時間/午前9時30分～午後4時30分
(午後4時オーダーストップ)

Lounge/Café

Refreshments are available at Lounge and Café with a splendid view of Hitsuishijima Island in the Seto Inland Sea, where the grandfather of Kai was born and brought up.
9:30AM-4:30PM [Last order 4:00PM]

■ ミュージアムショップ

当館が所蔵する作品の絵はがきや額絵、便箋、
コーヒーカップなどオリジナルグッズを販売して
います。

The Museum Shop offers a variety of items that have been made based on the museum collections. Souvenirs on sale here include postcards, mugs, etc.

春の特別展 Special Spring Exhibition

風景の底力—The Potentiality of Landscape
拡大する日本画 三瀬夏之介 野地美樹子

現代日本画の登竜門、「東山魁夷記念 日経日本画大賞展」の入賞者・入選者であり、日本画に新たな視点を見出し活躍する、三瀬夏之介と野地美樹子を紹介し、日本古来の伝統的な技術をもとに、日本の自然や文化をとらえる二人の作品は、大胆と精妙、モノクロームとカラフル、と相対する画風でありながら、いずれの作品にも生命の音がこだまし、風景を創り出す自然の力がみなぎります。各々が描く風景を通して風土の重要性を再考し、日本の地域性と創造の未来を展望します。



2022年 4月9日(土)～5月29日(日)

第1期テーマ作品展 Exhibition from museum collections 1

2022年 6月3日(金)～7月18日(月・祝)

山雲涛聲—山と海をめぐる

皇居新宮殿壁画には海を、唐招提寺障壁画には山と海を描くなど、魁夷にとって、山と海は日本の風土の象徴する風景でありました。森羅万象に宿る生命感を捉えることを表現の根拠として、主に長野県に取材した山々の風景や、岩礁や波を描いたスケッチ等を紹介しします。



海と岩スケッチA
Sea and Rock (sketch)

緑深
Green Ravine

第2期テーマ作品展 Exhibition from museum collections 2

2022年 7月21日(木)～9月11日(日)

画家の眼差し—自然との対話

折々の自然にひとり対峙する画家の姿を物語る、写真家・寺島照夫氏が撮影した魁夷の肖像を、作品とあわせて展示します。静寂の画面の中に込められた、自然の盛衰と人生の哀歓。魁夷が見つめた「風景」に思いを馳せるとき、清澄な自然と画家の心が重なります。



スケッチする東山魁夷
寺島照夫撮影

たけのこ(春風)

秋の特別展 Special Autumn Exhibition

2022年 9月17日(土)～11月6日(日)

日本画の粋—新見美術館コレクション選

岡山県北西部に位置し、自然豊かな新見市には、1,200点の美術作品を収蔵する新見美術館があります。本展では、瀬戸内地域の交流促進と活性化を図ることを目的に結ばれた、せとうち美術館ネットワークにともに加盟することから、同館の協力を得て、選りすぐりの日本画コレクションを紹介しします。竹内栖鳳、鐘本清方、川合玉堂、田淵俊夫など、近代から現代に至る画家による、風景、静物、人物といったさまざまな作品を紹介し、継承され、新たに生み出される日本画の中にも透徹する「粋(すい)」をご覧ください。



山口華陽 蘭錦
1767-1770 (東京国立近代美術館蔵)

第3期テーマ作品展 Exhibition from museum collections 3

2022年 11月11日(金)～2023年 1月22日(日)

本と魁夷—美の世界を綴る

雑誌の表紙絵や画集など、魁夷が手掛けた本にまつわる作品を紹介しします。絵と言葉の調和や、醸し出される季節感を伴った、詩情あふれる世界が精緻に形作られています。また、随筆「六色の色鉛筆」にちなみ、白、灰、青、緑、茶、黒の各色をテーマに作品を展示します。



「北原紀行 古き町にて」より地図(リトグラフ)
In the Old Town

白馬の森(木版刷)
Forest with a White Horse

第4期テーマ作品展 Exhibition from museum collections 4

2023年 1月27日(金)～4月9日(日)

魁夷を語る一人と芸術

留学や旅を通して古今東西の芸術文化に学び、自然を深く見つめながら、日本画家として風景画家として、魁夷が求め続けた美の世界を探ります。手がかりとして、川端康成をはじめ同時代の芸術家など、交流のあった人々が魁夷を語る文章を、作品とあわせて紹介しします。



沼(リトグラフ)
Marsh

晩鐘(リトグラフ)
Evening Bell